

問題1	<p>（発音・アクセントと音声面での理解）</p> <p>英語を音声言語として理解するために必要な、語や文における強勢や発音の基礎的な知識と判断力を測ることを目的としている。会話文の中で意味の中心となる語がどのように強調されて発音されるか、また、語に含まれる音がどのように実現されるかを正確に認識できているかを問うている。実際のやり取りを想定した場面を通して、英語の音声と意味との結びつきを意識して理解する力が身についているかを評価する。</p>
問題2	<p>（語彙・文法・語法の基礎的理解と運用）</p> <p>英語の文法事項や語彙・語法についての基礎的な知識を、文脈の中で適切に用いる力を測ることを目的としている。時制、仮定、助動詞、前置詞、関係表現、数量表現、慣用句などが、具体的な英文の中でどのような意味・機能を果たすかを正しく理解しているかを問うている。単なる知識の有無ではなく、意味の通る自然な英文を構成する観点から適切な選択ができるかを評価する。</p>
問題3	<p>（語順・構文理解と英文構成力）</p> <p>英語の基本的な語順や構文の理解に基づき、意味的に一貫した英文を構成する力を測ることを目的としている。語句整序の形式を通して、主語と述語の関係、修飾語句の配置、定型的な表現や構文が正しく把握できているかを問うている。英語に特有の論理的な文構造を意識しながら、全体として自然で適切な英文を組み立てる能力が身についているかを評価する。</p>
問題4	<p>（会話における意味理解と適切な表現選択）</p> <p>日常的な会話場面において、話し手の意図や状況を踏まえた適切な表現を判断する力を測ることを目的としている。会話の流れや前後の発話内容を考慮し、意味的・語用論的に最も自然な応答を選択できるかを問うている。語彙や文法の正確さに加え、実際のコミュニケーションにおける自然さや妥当性を意識できるかを評価する。</p>
問題5	<p>（対話文の論理的・意味的なつながりの理解）</p> <p>複数の発話からなる対話文において、発話間の論理的・意味的な関係を把握する力を測ることを目的としている。話題の展開、話し手の立場や感情、会話の目的などを踏まえ、最も自然に会話が成立する発話を判断できるかを問うている。これにより、英文を個別に理解するだけでなく、談話全体として捉える力が身についているかを評価する。</p>
問題6	<p>（長文読解と内容理解・情報判断）</p> <p>現代的な話題を扱った英文を読み、文章全体の主旨や構成を把握するとともに、具体的な情報を正確に読み取る総合的な読解力を測ることを目的としている。</p> <p>接続語や指示語の理解、語句の意味把握、内容の要点整理、情報の正誤判断などを通して、書き手の主張や文章の展開を的確に理解できているかを問うている。</p> <p>大学での学修に必要となる、情報を批判的に読み取り、全体像を捉える基礎的能力が備わっているかを評価する。</p>